

写

平成30年5月8日

全国手をつなぐ育成会連合会正会員
会長・事務局長 各位

全国手をつなぐ育成会連合会
会長 久保厚子
(公印省略)

「次世代に育成会運動をつなげていくために」
調査票記入のお願い

日頃から育成会活動の推進にご尽力をいただき感謝申し上げます。

今後の育成会活動について、昨年度一年間をかけて各ブロックで正会員の会長・事務局長等の皆さまによって検討を重ねてきました。

検討の結果、「次世代に育成会運動をつなげていくために」をスローガンにして、2022年以降、次世代による新体制の実現を目標に、実行すべき必要な内容を行動計画として短期・中期計画にまとめ、対応可能な課題から計画的に実行する事とします。

短期期間は、2018年度から2020年、中期期間は2020年から2022年になります。以下の項目を検討素材とし、整理した内容で新体制実現に向けて目標とします。

- (1) 各正会員、各支部（市町村等）の実態把握 2018年度中に調査実施
会員呼称など、各県毎、市町村毎の違いを整理する。
事務局や各支部の組織としての今後の見通しを把握する。
- (2) 次世代体制の強化 2019年度中に役割分担の変更方法など具体案
について検討し具体的な提案等について調整し、短期計画、中期計画を作成する。
 - ①事業幹事担当の変更に向けての具体化 事業幹事担当正会員で担っている事業の業務分析をする。
 - ②三役・ブロック長・幹事会代表の次世代化
2年ごとの6月の改選期に見通しを具体化。2018年 2020年 2022年
 - ③会員獲得の具体策 段取り 手はずし 見通しを立てる
・地域育成会活性化事業の役割 役立て所の共有化
・「手をつなぐ」の活用 各正会員に在庫を送付。支部で活用する。
- (3) 次世代体制への引き継ぎ短期計画の中で、次世代への実行案を具体化し、幹事事業の引継等行う。中期計画の中で新体制への引き継ぎを行う。2020年本格実施 2022年次世代体制 4年間の有効活用
- (4) 会費収入 毎年、年間平均400万円の減収への対策を講じる。
- (5) 分担金の見直し 新しいルールに向けて考え方の整理をする。

まずは2018年度、秋（10月中）までに育成会連合会の実勢把握を行います。

- ①各正会員と市町村等の支部との関わりで、正会員の元、支部会員の実態の把握を行う。各正会員の实態調査（表1）、各支部の实態調査（表2）

- ・ 会員呼称など、各県毎、市町村毎の違いを整理する。
- ・ 正会員事務局や各支部組織の今後の見通しを把握する。
- ・ 会員獲得の具体策 段取り、手はず、見通しについて把握する。
- ・ 地域育成会活性化事業の役割、活用方法（実績）を把握し効果を確認する。
- ・ 「手をつなぐ」活用方法の市町村レベルでの活用について意向の把握をする。

②支部の実情を踏まえた上で、各正会員の事務局機能などの実行体制の見通しを把握する。

③実態を元に連合会のあり方について見通しを持ち、短期・中期の目標、実行体制に置き換えていく

上記調査の主旨をご理解のうえ、育成会活動の維持、向上のため、皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

追記

調査票の記入について

- ①調査票は、各正会員向けと支部（市町村、施設保護者会等）向けの2つに分かれています。
- ②各正会員において、貴会、所属の支部の情報を把握して下さい。
- ③正会員において記入する調査票には、所属支部により得られた情報を元に、実態を反映して記入して下さい。
- ③支部とは、市町村での単位が基本になりますが、施設毎の保護者会や町村を複数組み合わせでの障害保健福祉圏域等、広域エリアでの組織などもあるかと思しますので、実態に応じて把握して下さい。
- ④記入が難しい内容については、無理に記入頂かなくて結構です。但し、記入出来ないのか、しないのかについては各支部に確認し把握頂きますようお願いいたします。
- ⑤調査票は、各正会員で支部の情報を取りまとめて記入したものを連合会事務棟[°]-センターに提出下さい。
※支部の情報は連合会事務棟[°]-センターへは送らないで下さい。
- ⑥締め切りは、本年10月末日です。お手数おかけしますが、よろしく申し上げます。